

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【三室小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「変化と関係」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。反復や振り返りが十分に確保できていない。	⇒ 授業の最初に前時の学習をミニテスト等で振り返り、その内容を生かして本時の課題を設定する【毎時間】。 書き込み式ドリルやドリルパーク、らっこたんの活用を通して、一人ひとりの課題に合った学習を進めていくことができるよう指導する【週に1度】。 1人1台端末を活用し、学びのポイント「し・しゃ・く」を意識した児童主体の授業を行ったり、スクールタッチボードを活用したりして、成果と課題を共有する【1か月に1度】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 算数「数と計算」「測定」「変化と関係」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させる必要がある。児童主体の学習活動の機会が十分に確保できていない。	⇒ 話を確実に聞くことを主眼に置いて指導を行う。また、評価規準を児童に示すことで、児童主体の振り返りが充実できるようにする【毎時間】。 教科横断的な視点や、体験的な学習を取り入れ、学びの深まりを意識したカリキュラムマネジメントを行う。【週に1度】。 ICTを効果的に活用し、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。また、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見直しをもって自力解決の場面の設定を行う【1か月に1度】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)